

教材名 「せんぱいの心を受けついで」

内容項目 C-（16）よりよい学校生活，集団生活の充実

授業者 T1：佐藤史子 T2：日下美緒

T：黒板を見てください。この間書いてもらった「大鷹沢小学校の伝統とは何か」14人に書いてもらったうち、13人がなんと「団七おどり」でした。Sくんは、縄跳びですね。ということで、これはまた後で使います。ちょっと頭に入れておいてください。

教材、事前読みしてもらいましたが、「先輩の心を受けついで」というお話でしたね。どうい
うお話だったか覚えていますか。玄関の所にKさんのおじいちゃんが作ってくれた菊の花があ
るでしょう。それを小学校で育てています。というお話でした。主人公の名前は？

全：ひろみ

T：ひろみは本当は放送委員会に入りたかったのだけど、なれなくてさいばい委員になりました。
最初はやる気が出ない。ところが今年は菊作り20周年の年で、二人二はち運動、1年生のけ
んいちと組んで、二人でやることで、全然やる気がなかったのがちょっとやる気がでてきた。
その後、先生から先輩のおじさんの作文を見せられ、プラスそのおじさん本人の話を知りたり
して、おじさんから何て言われたんだっけ。

C：菊作りは学校の誇りだよ。

T：その話を聞いてますますやる気になった。菊祭りのときに、先輩の皆さんも招待することにな
り、ひろみは迷わずおじさんに招待状を書きました。そんなお話の流れでしたね。事前読みを
して、みんなが選んだ課題は？どうぞ。

C：最初はいやがっていたのにやる気になったのはどうしてなのか。

T：ということで、話し合いをしていきたいと思います。最初は栽培委員になっていやがっていた
のに、なんでやる気になってきたのか。

C：20年間続いてきた学校の伝統というのもあったし、米屋のおじさんにも学校の誇りだよと励
ましてもらったからやる気になった。

C：最初は嫌だったけど、二人一組になって協力して菊を作って、きれいに菊を咲かせたくて協力
していくうちにだんだんやる気が出てきたのだと思います。

C：やっているうちに、菊をきれいな花に咲かせたくてそこから楽しくなって夢中になった。

C：ずっと続いてきた伝統だから、やらないとなのかなと思った。

C：米屋のおじさんの作文を見て、先輩達の気持ちを受けついできれいな菊を咲かせようと思っ
たから。

C：だんだんやっていくうちに、やりたくない気持ちがやっけて楽しいなという気持ちになっ
たのだと思う。

C：先輩の立派な菊を続けるという意味を受けついでいかないと思った。

C：一人で菊を育てるのが嫌だったけれど、

C：受け継がれてきたと思うと、やらないわけにはいかないと思ったから。

C：みんなと協力してやると達成感が得られるということに気が付いて、それが楽しいなと思っ
たからだと思う。

- C : 菊づくりをしていると、おじさんは協力して何かを作ることが楽しいと思えたから。
- C : 褒められるとうれしいから、先生たちに褒められるため。
- C : 最初は嫌だったけれど、苦労して菊の花ができるのはとってもうれしいと思ったから。
- C : 協力して菊づくりをやっていくうちに、菊づくりがほこりに思えるようになってつくるのが楽しくなったから。
- T : ノートを置きましょう。はい、じゃあここからどうぞ。達成感って言ったけど、達成感ってどういうこと？もうちょっと詳しく教えてください。
- C : 菊の花を育てたときに、すごいきれいな花が育ったときにわたしたちがやったんだなあみたいな感じで、それが達成感なんじゃないかなあと思います。
- C : 達成感はやったあと思ったり、うれしいなあと思ったりすること。
- C : 達成感はやり終わった後にやりきったとか、うれしいと思うことだと思います。
- C : 達成感最後までここまでやれてよかったなあとか最後に、後から思うことだと思う。
- C : 達成感やりきったあとに、なんかよかったなあと思うことだと思う。
- C : 達成感他の人と協力したりして、全部やっていたことが終わったという感じだと思う。
- C : 達成感は…
- T : 達成感のことじゃなくてもいいよ。
- C : やりきったあとに、うれしい。
- C : 達成感協力して、きれいな花を咲かせたときに、ああ頑張ったなあとか、そう思うことだと思う。
- C : 達成感やりきったあとに、やっどこまでこれたとかやっどできたとか、そういう感じなんだと思います。
- T : 達成感のことだけでなく、じゃあ、話を変えるね。Aさんがほこりに思えたって言ったし、このお話のおじさんの話の中で、「学校が一つになったと思いました」と言ったでしょう。学校が一つになったってどういうこと？
- C : みんな同じ一つのことをやることで、みんなの心が一つになることだと思います。
- C : Kくと似ていて、みんなで頑張ったということだと思います。
- C : みんなで最後まで菊をつくることで、心が一つになったということ。
- C : Aくと同じで、つくるのにみんなで協力して、それで心が一つになることだと思います。
- C : できあがった菊を見て、きれいだなあとかみんなと同じことを思うことだと思います。
- C : みんなとできて、こういうふうになんか心が一つになって、きれいな菊を咲かせて、うれしいなと思うことだと思います。
- C : Kくと一緒に、みんなの気持ちがひとつになってまとまって、そういうことだと思います。
- C : みんなでやったということ。
- C : みんなの気持ちがまとまった。で、心が一つになったんだと思います。
- C : Kくと同じで、心が一つになったんだと思います。
- C : Kくと同じで、みんなの心が一つになることだと思います。
- T : みんなの気持ち、分かりました。この後に、「迷わずおじさんに招待状を書きました」ってあったよね。Kさんが自分の考えた問いであげてくれたのだけど、ひろみはなんで米屋のおじさんに招待状を書いたかな。
- C : おじさんにやりきったよって伝えるためにおじさんに手紙をかいた。

- C : Sくんと似ていて、自分はこんなに頑張ったんだよと教えるために。米屋のおじさんのところに行ったら、ほこりだよと励ましてもらってうれしかったから、誇りというかそんな感じでも書いたのだと思います。
- C : おじさんのおかげで、自分はみんなと協力して菊づくりをなしとげることができたお礼に、招待状を送ったのだと思います。
- C : 米屋のおじさんも前この学校にいたし、菊づくりをみんなで受け継いでいるよというのを伝えたくて、手紙を出したのだと思います。
- C : おじさんの話、それに感激して、それから頑張ってきたから、その励ましの言葉をもらったおじさんに招待状を渡したのだと思います。
- C : 20周年だし、おじさんも昔小学生だったから招待状を渡したのだと思います。
- C : おじさんに頑張ったよみたいな気持ちを込めて招待状を出したのだと思います。
- C : おじさんの話を聞きに行ったときに、菊づくりは学校の誇りと言われてうれしかったから、おじさんに手紙を書いたのだと思います。
- C : Fさんと同じで、菊づくりは学校の誇りだと言われたからうれしくて、招待状を送ったのだと思います。
- T : 多分先輩っていっぱいいるよね。20年もやっていたらさ。おじさんだけが先輩じゃないよね。他の人じゃダメなの？
- C : おじさんは先輩の中で唯一知っている先輩だから、招待状を渡したのだと思います。
- C : ひろみはおじさんの作文を読んでやる気になったから、みんなと協力してつくった菊を見せたかったからおじさんを招待した。
- C : 作文を見て、やる気にもなったし、話にも行ったときに励ましてくれたからお礼として誘った、招待状を渡した。
- C : 菊づくりをする気力というかなんか、やる気があがっておじさんのおかげで今があるみたいな感じだから、やっぱりおじさんだったのだと思います。
- C : 作文を見たし、誇りと言われたから、やっぱりおじさんに送った。
- T : おじさんて一体、何に気付かせてくれたの？
- C : 学校の菊づくりの大切さとか、伝統みたいなことをこの学校にとっていいことというのを気付かせてくれた。
- C : 仲間との協力を教えてくれたのではないかと思います。
- C : 一人一人がこの学校を大切な伝統だということを気付かせてくれたのだと思います。
- C : Nくんと似ていて、おじさんが伝統について気付かせてくれたのだと思います。
- C : 伝統の行事だということに気付かせてくれた。
- C : 菊づくりはその学校の伝統だから、菊づくりは守っていったほうがいい。
- C : Kくんと同じで、仲間と協力する大切さを教えてくれたのだと思います。
- C : Aさんたちと同じで、みんなと協力することの大切さを教えてくれたのだと思います。
- C : 昔からの伝統だから、菊づくりを頑張ってやっていくということを教えてくれたのだと思います。
- T : みんなの話を聞いてちょっとずつ分かってきたのだけれど。じゃあ、ひろみさんの話はこのへんにして。もう一度こちらを見てください。(ホワイトボードを事前アンケートに戻す) しょうちゃん、縄跳びは別のときに話すから。今日は団七おどりについてちょっと考えてみたい

と思います。今日も踊るけれど、団七踊りっていつ覚えましたか。

全 : 4年生

T : 団七踊りってずっと続いているでしょう。多分これからも続いていくんだよね。じゃあ、そのためにみんなができることとか、大切にしていかなければいけないことってどんなことだと思う？

C : 高学年の人たちが中学年の人たちの前で、しっかり踊ることとか、踊り方をしっかりと覚えさせることだと思います。

C : 刀とかを大切にする。

T : 道具っていうこと？

C : そうそうそう。

C : 受け継いだりとかしてきた伝統の大切さみたいなものを教えるのではないかと思います。

C : Kくんと同じで、伝統の大切さを教えるのだと思います。

T : 踊りって出ただけけれど、踊りを教えるだけなら先生でも踊りを教えることができるけれど、なんで子ども達同士で教えていくのかな。

C : もう一回お願いします。

T : 踊りを教えるなら、先生も教えることができるよ。でも、6年生から4年生に教えられてきたよね。なんで子ども達同士で教えるのかな。

C : 上の学年が、頑張っって受け継いできたもの、自分たちで覚えたやつを下の学年に教えるっていうのがかっこいいというか、伝統というものだと思うから。

C : それはやっぱり協力してやるからだと思う。

C : Aくんと同じで、自分達でやらないと、しっかりその伝統を教えることができないから。

C : 団七踊りは大鷹沢の伝統だから、先生たちにお世話になるよりも、自分たちが引き継いでいくという気持ちで教えていければいいと思う。

C : 6年生が教えていくというのも伝統だから。

C : 6年生が4年生に教えていくということで、伝統の大切さを教えられると思います。

C : 6年生が4年生に教えることが伝統だから。

T : ちょっと時間を巻き戻して、4年生のときのことを思い出してください。6年生に教えてもらったよね。そのとき、どんなふうに思った。

C : この人たちは一生懸命やって、みんなと協力してそういうことができたのだと思った。

T : 教えてくれた6年生は、伝統を守って、昔からあった伝統を先輩達から受け継いできたのだと思った。

C : 団七踊りは伝統だから一生懸命やっているのだと思った。

T : 体育のときにダンスとか、この間の学習発表会の際のダンスは先生が教えたじゃない。あれと、団七踊りは6年生、先輩に教えてもらったよね。先生にスリラーを教えてもらったときと、先輩に団七踊りを教えてもらうときって同じ教えてもらうでもなにかちがう？同じ？

C : 学習発表会の際に教えてもらったのは（先生に）、面白くやるように、ちゃんと覚えるようにという感じで、団七踊りは6年生に教えてもらって、これからはずっと引き継いでいくという感じで、君たちがまたちゃんと4年生に教えて踊っていくようにするという感じなのでちがうと思います。

C : 先輩たちは地元の人だから、この踊りがよく分かっているから、先生たちはあまり分からない

から、先輩たちに教えてもらったほうがいいと思います。

C : 先生たちから教えてもらうのは、スリラー踊ったときは、劇を面白くさせるためだったけど、団七踊りは先輩たちから受けついできた踊りだから、伝統だから、教えていく、小さい学年に教えていくからちがうことだと思います。

C : スリラーとかっていうのは、学校で毎年やる伝統というものでもないし、面白くするための思いだったけれど、団七踊りは毎年毎年伝統だから6年生から教えていくものだからちがうと思う。

C : Yさんと似ていて、スリラーは1回だけとかで、団七踊りは伝統だから毎回毎回やるからちがうと思う。

T : 質問だけれど、先輩たちは地元の人たちだけれど、先生たちは地元の人じゃないって言ったじゃない。それってやっぱりちがうかな。

C : ちがうと思います。先輩たちはそういう先輩たちに教えられたから分かるけれど、先生たちはまだ入ってきたばかりで知らないと思うから…。

C : 入ってきたばかりではない先生もいるのではないですか。

C : そうだね～。

T : じゃあさ、実は、地元の先輩たちからお手紙がきています。今日こういうことをみんなで話し合うって言ったら、書いてくれたの。読みます。もしかしたら、知っているかもしれない。

手紙1 : ぼくは今、大学3年生です。小学校5年生のときに、団七踊りの引き継ぎ式がありました。その練習のときに、今でも忘れられない思い出があります。そのときのぼくは、4年生のときに踊りを教えてもらい、ある程度踊ることができるようになっていました。その気のゆるみもあったのかもしれませんが、団七の剣で友達とふざけているうちに、チャンバラごっこをしてしまいました。少しなら大丈夫だろうと思っていたのですが、やっているうちに夢中になり、気がついたときには、剣の先が欠けてこわれてしまっていました。(まずい、どうしよう)と思ったときにはすでに遅く、案の定、先生からものすごく怒られました。6年生からも「もう、やらなくてもいい。」と言われたのですが、勇気を出して6年生の教室に謝りに行きました。結局許してもらったのですが、そのときに仲良しの6年生から、「道具を大事にできないやつには団七踊りをする資格がないんじゃないのか。」と言われたことが今でも心に残っています。6年生のみなさんは、卒業式に引き継ぎ式がありますね。踊りだけでなく、道具を大切にすることや、代々の先輩の気持ちも引き継いでいってほしいと思います。がんばってください。

卒業生 ○○○○

T : 知ってる?○○さんのお兄ちゃん。実はもう一通あります。

手紙2 : みなさん、こんにちは。私は大鷹沢小学校の卒業生で、みなさんが1年生のときに6年生だった○○の母です。○○が6年生のとき、団七踊りの引き継ぎ式を見に行きました。団七踊りは、私が小学生だったころに踊り始まってずっと何年も先輩から後輩へと伝えられてきたものです。私も6年生のときに、下級生におどり方や衣装の着方、道具の扱い方を教えたことをよく覚えています。自分が後輩に引き継いだものが何年も続いていて、自分の子どもが目の前でおどっている姿を見たとき、胸がいっぱいになって何故だか涙が出てきたことをよく覚えています。自分と自分の子どもが団七踊りを通してつながっているんだなあと感じました。我が子と団七踊りの話ができるって幸せなことだなあと思いました。先生から1月に引き継ぎ式があると聞きました。長い間踊りつがれてきた団七踊りを後輩へとしっかり伝えてほしいなと思いま

- す。かげながら、みなさんのことを応援しています。がんばってください。卒業生 ○○の母
- T : というお手紙でした。二人の先輩、本当はもっと先輩いるんだけどね。今日お手紙を読ませていただいたんですが、今の話を聞いてどうでした？
- C : これからもまじめに引き継いでいきたいと思いました。
- C : 6年生の人に「団七踊りをする資格がない」と言われたことに、すごい団七踊りの伝統は大切なものだなと思いました。
- C : Sくんと似ていて、道具なども大切にしていかなければと思いました。
- C : 伝統を引き継ぐのって、すごい責任があるなあと思いました。
- C : ぼくも伝統を引き継ぐのは大事なことだと思いました。
- C : 伝統を引き継いでいくことは大切だと思いました。
- C : 団七踊りのときに、道具や伝統、そういうものも大切にしていかなければならないと思いました。
- C : 団七踊りがこんなに続いているのはやっぱりすごいと思いました。
- C : 手紙の話を聞いて、団七踊りは伝統の踊りだから道具とか衣装とかをもっと大切にしていかなければと思いました。
- C : 伝統だから、これからもやっていくこと。
- C : 道具を落としてちょっと欠けただけでも、大切な道具だから、これからも大切に使いていきたいと思った。
- C : 団七踊りの伝統は、いろんな先輩たちが踊ってきて、大切にしてきたものだから、これからも大切にしていかなければならないと思いました。
- C : 道具が少しぐらい壊れても、大切な伝統だから、道具や服とかも大切に使ったほうがいいと思った。
- C : これからも誇りをもって踊っていきたいと思いました。
- T : みんなの話を聞いて、伝統に対する気持ちがわかったんだけど、わたしは小学校のときは、この大鷹沢小学校とちがって団七踊りみたいな踊りのような伝統はなかったのね。でも先生は楽しい小学校生活を送ってきたのだけれど、みんなはあるけれど、先生みたいに伝統がなかった人とでは何かちがうと思いますか。
- C : 伝統がないからちがうとかそういうのはないけれど、やっぱり伝統とかがあるところは、伝統を引き継ぐときの責任感が分かるのではないかと思います。
- C : もう1回お願いします。
- T : 先生は大鷹沢小学校みたいに伝統がない学校だけれど、それってだめかなあ。
- C : だめではないと思います。
- C : だめではないけれど、伝統を引き継いでみんなに教えられたら、とてつもない達成感が得られていいなあと思います。
- C : 団七踊りがあったほうが、みんなにここの学校は団七踊りが有名ですと伝えられる。
- C : もう1回お願いします。
- T : 先生は伝統がなくても楽しかったけど、Yくんはどうですか。
- C : 伝統があると、今までやってきたという達成感が感じられると思う。
- T : 本当は今のことをみんなに聞いてみたいところなのだけど、時間がなくなってしまったので、改めてそれについて思ったことでもいいので、ノートに振り返りを書きましょう。心に残った

ことや自分の考えが変わったこと，なるほどと思ったこと，新しく疑問に思ったこと，これからの生活に生かせそうだなと思ったこと。書いてみましょう。

T : 3人の人に紹介してもらいます。Kくん，Fさん，Kさん。

C : 改めて伝統とは何なのかを考えさせられました。これからも伝統を守り，次の世代に引き継いでいきたいと思いました。

C : 今日話し合いをして思ったことは，この話に出てきた伝統の菊作りのように，6年生がいなくてもちゃんと団七踊りを大切にしてもらいたいと思いました。あと，みんなの話を聞いて，一人一人団七踊りを大切にしてもらいたいと思いました。あと，みんなの話を聞いて，一人一人団七おどりを大切にしていることが分かって良かったです。

C : みんなと学校の伝統とか大切さとかをみんなで話し合えてよかったなと思いました。団七踊りもみんな真剣に踊っているし，この伝統をちゃんと引き継ぐ気持ちで，4年生に教えようと思いました。

T : ありがとうございます。全員のノートをあとでゆっくり見させてもらいます。すごく一生懸命考えて，いろんな意見をお話ししていたのがよかったかなと思います。